

むし歯半減治療 100%運動スタート

各地でむし歯予防指導会

心身の健康と切っても切れない関係にある歯、その歯をいつまでも丈夫に保つには、むし歯や歯肉疾患といった歯の病気がかからないよう、ふだんから歯を清潔に保つことが大切です。

歯の「健康保持」は、まずむし歯予防から——というこ



幼児はむし歯に冒されています。
正しい歯みがきはどのように……

とで村では、今年度から「むし歯半減・治療100%十年運動」を始めました。

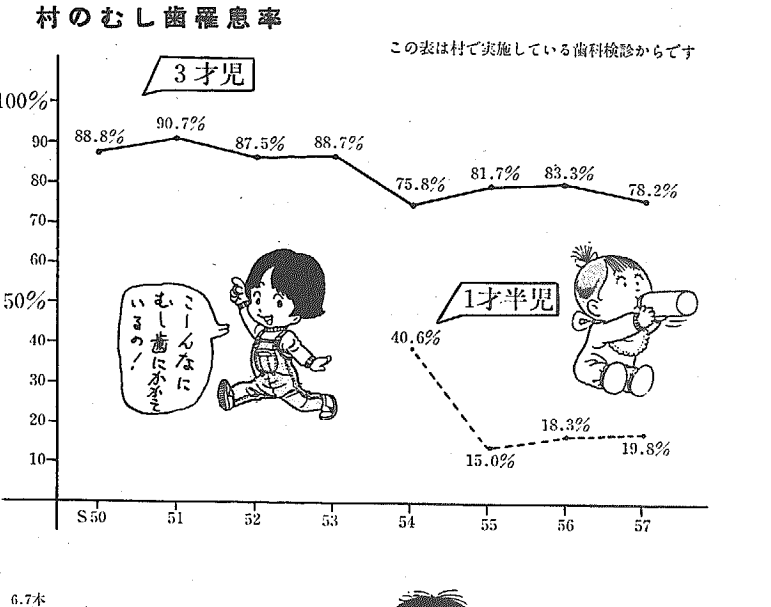
五月十六日から二十五日まで、むし歯予防指導会が川根谷内・横越・木津・小杉の四地区で幼児とその親を対象に行われました。横越地区の指導会には親子ら六十人余りが

出席し、この指導を受けました。

「幼児の乳歯はいずれ永久歯に抜け替わるので、少々のむし歯は気にしない、など軽く考えては、後にとり返しのつかぬことに。この乳歯こそ永久歯の水先案内人です。」と保健婦の説明にうなずきながらスライドをみたり、実際に幼児をヒザの上に寝せて歯をみがくなど、若いお母さんたちは真剣でした。

六月四日から十日まで「歯の衛生週間」です。人間の平均寿命が七十六才（五十六年）となっているのに対し、歯の寿命は、いちばん長い下あごの糸切り歯で六十年、短いもので女性の下の左奥歯で三十八・九年となつています。人間の寿命より歯の寿命のほうが先に尽きてしまわうけです。しかし、手入れ次第で歯の寿命は延ばせます。それは、歯がはえた幼児期から行わなければなりません。そこで村の幼児のむし歯実態を認識していただくと同時に、この指導会で行われたむし歯予防の一部を紹介しましょう。

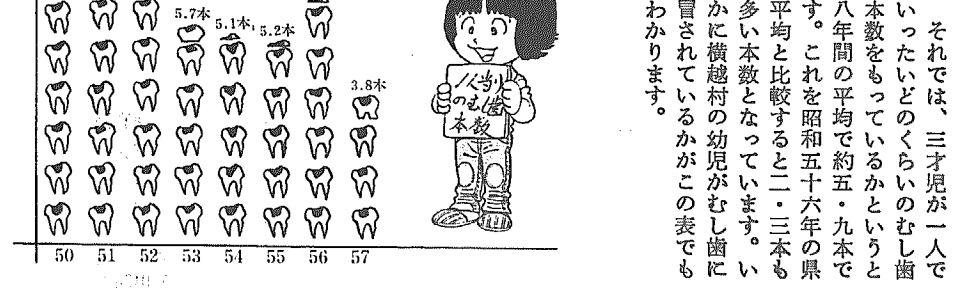
3才児で約80%、1才半ではすでに23%がむし歯に



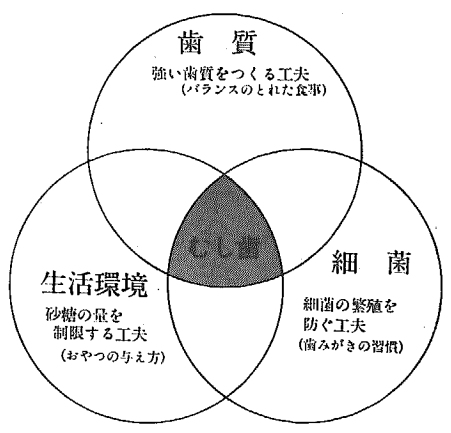
また一才半児では、四年間の平均が二十三・四%の幼児がすでにむし歯にかかっていることがわかります。しかし、表でもわかるように昭和五十四年が四十・六%なのに對し、昭和五十五年では十五%と半分以下に下がっています。

時にむし歯予防の指導を行い幼児をもつお母さんの関心が高くなり、このような結果が出たものと思われれます。

三才児平均
一人：5.9本のむし歯



むし歯の原因と予防



むし歯は右の図でおわかりのように、細菌、歯質、食物の三つが三つとも重なったときに発生します。無菌飼育の動物にどれほど多くの砂糖を与えても、むし歯はおこらない。

田植も機械化でアッという間に終り、一面緑に覆われた田木々の緑の美しさも日増しに濃くなつてくる。入学、進学就職と誰れしも必ず通らなければならぬコースではあるが、必ずしも希望の光に前途が明るくは限らない。一生懸命に勉強し、ヤット高校へ入学しても努力の割に「ナインダー」と思ったり、人間らしい睡眠をとらず大学へ入っても、ろくに授業を受けなかつたり、就職した職場も、又、そうであつたりするのがこの季節であり

しかし、周囲を見廻してみれば、自分のために職場や学校があるように生き生きとしていっている人がいるかと思つて、いつまでたつても片隅にヤツト立っている様な人もいます。新しい環境を、いかに自分の

六月病?

いなこともない。自分の平凡さを棚上げて多くを望み他人を羨んで不平不満を繰り返す。六月病の治癒の秘訣は本人の自覚と努力のみと云ふ。

(山崎)

幼児の歯みがきは…お母さんが

▼上の歯がはえ始めたら
水を含ませた清潔なガーゼや脱脂綿を指先にまきつけて歯の表面の上ごれを軽くふきとってやります。粘膜を傷つけないように注意します。

▼お誕生を迎えたら
少なくとも朝晩の二回は小さなやわらかい歯ブラシで歯面を軽くこすつてよこれをとってやります。

▼二歳すぎたら
ひとりでも歯ブラシをもってみがく練習をはじめます。不十分ですからお母さんが手伝ってあげます。歯ブラシは子ども口の大きさにあつたものを選び、歯みがき粉は使う必要はありません。

▼三〜四歳すぎたら
不十分ながらひとりでもみがくようになります。上の歯は上から下へ、下の歯は下から上へ。奥の歯はかみ合わせの面をかき出すように。みがいたときは忘れずにほめてやります。時々、お母さんの点検が必要です。

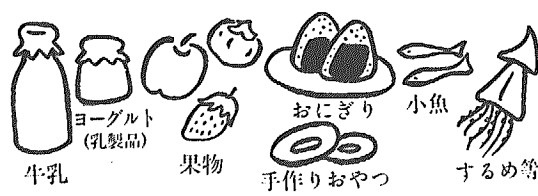
歯ブラシの毛幅は幼児の指2本くらいのものを選びましょう。

夏の思い出に 新潟博へ

「83新潟博」が七月一日から八月三十一日まで、新潟市親松で開かれます。この博覧会は、十四の展示館のほか、おまつり広場、プレイランドなどためになる楽しさがいっぱいあります。今年の夏の思い出に家族みんなでご覧ください。

現在囀託員を通じて前売券の希望取りまとめを行っています。締め切りは六月十五日までとなっていますのでお早めに申し込みたい。

おやつは時間を決め果物、乳製品等を中心に
望ましいおやつ (例)



幼児のおやつからは、一日15g〜20gの砂糖の量が適当といわれています。

児童手当
振込のおしらせ
六月期児童手当を六月十日に該当者の口座に振込みました。